

## 市長提出議案第 74 号について

○議長（笠原敏夫） 日程第 4、市長提出議案第 74 号を議題といたします。

当局の説明を求めます。

市長。

○市長（岡部正英） それでは、議案第 74 号について説明を申し上げます。

別冊の平成 21 年度佐野市補正予算書の 1 ページをお開きください。議案第 74 号 平成 21 年度佐野市一般会計補正予算（第 3 号）について説明を申し上げます。

第 1 条、歳入歳出予算の補正といたしましては、2 ページから 3 ページにかけての第 1 表、歳入歳出予算補正のとおり 9 億 71 万 4,000 円を追加するものでございます。

8 ページをお開きください。歳入から説明を申し上げます。14 款国庫支出金でございますが、8 億 3,921 万 4,000 円の追加でございます。主な内容は、地域活性化・経済危機対策臨時交付金でございます。

次に、15 款県支出金でございますが、231 万 6,000 円の追加でございます。内容は、緊急雇用創出事業費補助金でございます。

次に、18 款繰入金でございますが、5,916 万 2,000 円の追加でございます。内容は、財政調整基金繰入金でございます。

次に、20 款諸収入でございますが、2 万 2,000 円の追加でございます。内容は、労働保険料でございます。

10 ページをお開きください。歳出について説明を申し上げます。2 款総務費でございますが、2,189 万 9,000 円の追加でございます。内容は、公用車更新事業費及びこども 110 ばんの家プレート作成事業費でございます。

次に、3 款民生費でございますが、756 万円の追加でございます。内

容は、保育所AED設置事業費でございます。

次に、4款衛生費でございますが、1,233万8,000円の追加でございます。内容は、新型インフルエンザ対策防護具等整備事業費並びに住宅用新エネルギー及び省エネルギー機器導入推進員設置事業費でございます。

12ページをお開きください。6款農林水産業費でございますが、1,000万円の追加でございます。内容は、農地有効利用整備支援事業費でございます。

次に、8款土木費でございますが、1億6,000万円の追加でございます。主な内容は、(仮称)まちなか活性化ビル改修事業費でございます。

次に、9款消防費でございますが、1億4,653万5,000円の追加でございます。主な内容は、広域消防組合支援事業費でございます。

14ページをお開きください。10款教育費でございますが、5億4,238万2,000円の追加でございます。主な内容は、小学校ICT環境整備事業費でございます。

以上が議案についての概要でございます。何とぞよろしくご審議の上、ご承認いただきますようお願いを申し上げます。提案理由の説明といたします。

○議長（笠原敏夫） 以上をもって当局の説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑の通告がありますので、通告順に順次発言を許します。

7番、小暮博志議員。

○7番（小暮博志） 議案第74号 平成21年度佐野市一般会計補正予算（第3号）についてご質疑いたします。

ここで、質疑という言葉ですが、広辞苑で調べてみますと、疑いあるところを問いただすこと、そしてまた質問ということになっております。今回の場合は、こうした質問に相当すると思っておりますが、よろし

くお願いいたします。

この議案は、国から地域活性化・経済危機対策臨時交付金約 5.7 億円、国からの学校情報通信技術環境整備事業費補助金約 2.7 億円及び県からの緊急雇用創出事業費補助金約 200 万円の予算化ということで、その内容の理解はできるところであります。そして、全員協議会での説明によりますと、佐野市としても将来考えている事業の前倒しが可能となり、助かるというような話があったと記憶しております。

しかし、今回の補正予算を見ますと、同時に佐野の財政調整基金から約 5,900 万円を取り崩しております。なぜこのようなことまでする必要があるので、疑問に思うところであります。今、日本経済は非常に厳しい状況であり、経済活性化のためにお金を使うことは必要と考えております。しかし、平成 21 年度の一般会計中の市債としましては約 36 億円（対予算約 9%）ほどあり、佐野市は少しでも黒字運営に向け努力してほしいと思っております。

ここで、以下 3 つの質疑をよろしくお願いいたします。

(1)、今回の国からの交付金、補助金の活用にあたり、規制等がありましたら教えてください。

(2)、この補正予算で、将来事業が前倒しとなる案件を教えてください。

(3)、補正予算として、財政調整基金から約 5,900 万円を取り崩して使う必要性を教えてください。

以上、よろしくお願いいたします。

○議長（笠原敏夫） 当局の答弁を求めます。  
総合政策部長。

○総合政策部長（寺岡敏男） 小暮博志議員の質疑にお答えいたします。

初めに、国からの交付金、補助金の活用にあたり、規制等があるかにつきましてでございます。地域活性化・経済危機対策臨時交付金でございますが、要件といたしましては地球温暖化対策、少子高齢化社会への対応、安全、安心への実現、そのほか将来に向けた地域の実情

に応じる事業を、積極的に実施するために交付することになっております。

次に、将来事業が前倒しとなる案件につきましては、補正予算書 10 ページ、11 ページにございます公用車更新事業費、こども 110 ばんの家プレート作成事業費、次に 12、13 ページにございます（仮称）まちなか活性化ビル改修事業費、米山南町緊急浸水対策事業費、都市公園遊具施設整備事業費、広域消防組合支援事業費、化学消防ポンプ自動車更新整備と消防庁舎耐震診断及び補強工事、避難所看板整備事業費、次に 14 ページ、15 ページにございます小学校、中学校 ICT 環境整備事業費でございます。

次に、3 番目の財政調整基金から約 5,900 万円を取り崩す必要性についてでございます。歳入歳出の均衡予算にするため、全体の財源調整として財政調整基金から繰り入れをしてございます。また、個々の事業執行に当たりましては、入札制度等を適用しますので、予算額と執行額が一致することはございません。そのため、交付金を全額適用するための調整の役割も果たしております。

なお、事業執行に当たりましては、交付金の額を目途に執行してまいりたいと考えております。

以上、答弁とさせていただきます。